

スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report

2014年 春号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245

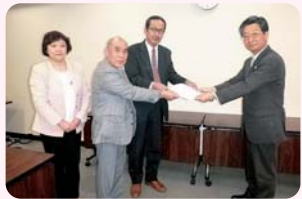
E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net



あなたの^{あした}未来に笑顔と元気を!

一人の声を大切に! 100万人の笑顔のために!

●●● 活動・視察 ●●●



■ 仙台市に除雪対応の要望書を提出。

3月20日に、秋保小学校連合町内会会長の方々とともに「豪雪災害時における道路交通確保の要望書」を提出し、今回の除雪対応の課題しっかり検証し、今後の大雪対策に万全を期していただきたいと要望いたしました。



■ 荒浜・東宮城野小学校合同の「踊育(だんいく)・ダンス特別授業」見学。

(2月17日・宮城野区)
「踊る喜びを被災地の子どもたちに経験してもらいたい」と公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会の協力でプロによる初めてのダンス授業が行われ、児童たちの笑顔が弾けた。



■ 「東日本大震災からの更なる復興加速を求める申入れ」提出。

3月14日、公明党仙台市議団は奥山市長に、震災から3年の節目を迎え、「孤独死」を防ぐための見守り体制や子どもの心のケアなどに十分配慮し、一日も早く、希望輝く故郷を取り戻し、一人残らず「人間の復興」を成し遂げるため、全力を尽くして取り組んでいただきたいと申入れを行った。

郷を取り戻し、一人残らず「人間の復興」を成し遂げるため、全力を尽くして取り組んでいただきたいと申入れを行った。

■ 食物アレルギー児を家庭と地域で支える研修会参加。(1月18日・横浜市)

■ 函館市の陣川あさひ町会が行政の補助金なしで運行するコミュニティバスの取り組みを視察。(1月23日・函館市)

■ アメリカ発の防災訓練「シェイクアウト」を日本初で実施した東京都千代田区を視察。(2月6日)

■ 地下鉄富沢駅東口駅前広場完成式参加。(3月25日・太白区)



◇◇◇ 皆さまの声をカタチにしました!(実績抜粋) ◇◇◇

■ 青山2丁目28付近の私道整備。

住民の方々から、「震災で破損した私道整備を仙台市に申請し、平成23年から工事が始まったが数mの小刻みの工事で、なかなか進まない。破損が大きく、交通量が多いところなので、一日も早く整備してほしい。」とのお声がありました。早速、道路課に現状を訴え、工事完了となりました。

■ 仙台市浄化槽事業の条例が改正されました。

仙台市の浄化槽事業は整備対象が個人の住宅のみでありました。秋保地域の町内会長から、「住民の負担が大きいため、集会所を対象にしてほしい。」とのご相談を受け、平成25年第2回定例会の一般質問で取り上げました。公的施設であり、避難所であるという理由で対象としている大崎市の事例などを通し、なかなか行政支援の恩恵を受けられない山間部地域にこそ支援の手を差し伸べるべきであると強く訴えました。その結果、今定例会において、条例が改正され、4月1日から施行となりました。

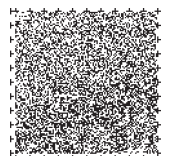
■ 鉤取2丁目23付近の用水路の転倒防止として、安全ポール設置。

■ 旗立溜池付近の道路の拡幅工事と側溝整備、ガードレールの延長設置。

この道路は、人來田、旗立、山田自由ヶ丘などの方面から国道286号線に繋がることから、交通量が多く、安全対策として、道路の拡幅や雨・雪の時の側溝改善が必要でありました。長年、町内会でも要望しており、住民から「危険箇所なので早急な対策を。」とのお声を頂いておりました。住民の皆様とともに取り組み、安全対策が図られました。

■ 鉤取4丁目の鉤取八幡神社付近のT字路と鉤取寺付近の安全対策。

保護者からのお声を受け、上野山小学校学区の通学路安全対策に学校や地元町内会と連携し、「歩行者注意」の路面標示4か所、路面カラー標示で注意喚起、ガードレールに衝突防止強化など様々な対策が図られました。さらに歩道整備も申入れており、今後も引き続き取り組んでまいります。



●●「ふたごの子育て」の冊子ができました。●●

平成24年第3回定例会の決算等審査特別委員会で多胎児家庭の子育て支援について、多胎の妊娠・出産は母体への負担が大きく、多胎特有のリスクや注意点がある。安心して産み育てていけるよう、多胎児向けの冊子を訴えました。現在、母子手帳とともに冊子(母子保健事業団発行)が配布されております。